

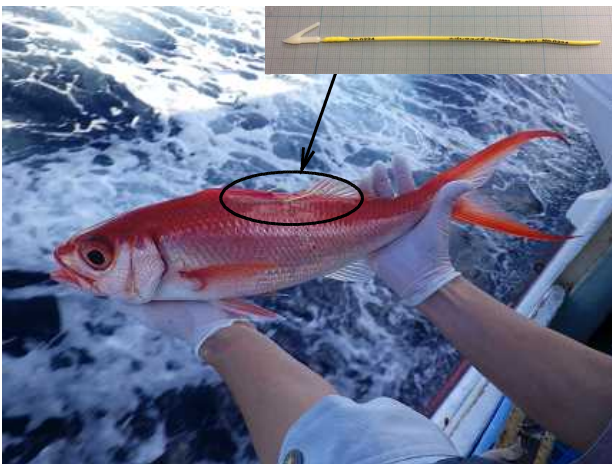
# ハマダイ（チビキ）の標識放流調査

平成28年12月27日 水産技術開発センター

マチ類広域資源管理の対象となっているハマダイの回遊生態を調べるため、12月7～13日に、屋久島の南西沖でハマダイ12尾（37～62 cm）に黄色のダート型標識を2本装着して放流しました。

今回は、西海区水産研究所亜熱帯研究センターの研究員が同行され、放流魚のうち2尾に超音波発信器を装着し、放流後の行動追跡を行いました。その結果、放流後5日目まで生存が確認されるなど、貴重なデータが得られました。

発信器の電池は1ヶ月程度もつとのことですので、今後しばらく時間をおいて再度行動追跡を試みる予定です。



（通常のダートタグ標識魚）



（超音波発信器装着魚）



〔海中に受信機を差し込み  
音波をキャッチ〕



〔受信機の向きを変えながら  
放流魚の居どころを探る〕